

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

購入時の取得価額によっている（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、適用していない）。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっている。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付の支給に備えるため、期末要支給額に相当する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,040,000	0	0	100,040,000
定期預金	5,000,000	0		5,000,000
小計	105,040,000	0	0	105,040,000
特定資産				
美術品	1,500,000	0	0	1,500,000
退職給付引当資産	71,545,391	0	12,306,198	59,239,193
小計	73,045,391	0	12,306,198	60,739,193
合計	178,085,391	0	12,306,198	165,779,193

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	100,040,000	(100,000,000)	(40,000)	(-)
定期預金	5,000,000	(5,000,000)	(0)	(-)
小計	105,040,000	105,000,000	(40,000)	(-)
特定資産				
美術品	1,500,000	(1,500,000)	(0)	(-)
退職給付引当資産	59,239,193	(0)	(5,667)	(59,233,526)
小計	60,739,193	1,500,000	(5,667)	(59,233,526)
合計	165,779,193	106,500,000	(45,667)	(59,233,526)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第128回利付国債	50,090,000	55,060,000	4,970,000
第135回利付国債	49,950,000	54,530,000	4,580,000
合 計	100,040,000	109,590,000	9,550,000

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,506,159	3,418,947	87,212